

十島村への漂着油について

東シナ海で沈没した石油タンカーのものと思われる油が、宝島周辺の海岸沿い全域に油漂着が確認できております。また、各島消防団及び海上保安部による現地調査の結果、十島村有人島7島すべてにおいて油漂着が確認されております。現状としましては、2月15日より油防除会社が宝島において、油除去作業を行っております。各島及び無人島につきましても今後、漂着状況の調査・確認を行い、防除作業を進めてまいりたいと思います。

1. 油漂着の経緯

月日	概要
1月6日	・東シナ海で石油タンカーと貨物船が衝突・炎上
1月10日	・タンカーの一部が爆発 ・タンカーの全長 274m（8万5千トン） 積荷：コンデンセート（軽質油）13.6万トン 燃料：重油 1900トン
1月14日	・奄美大島の西およそ 315 kmの東シナ海で沈没 （中国大陸と沖縄の中間点で沖縄から約 300 km）
1月27日	・宝島で油漂着が発見される
1月28日	・鹿児島海上保安部による飛行機・船での調査（油採取）
2月1日	・十島村災害対策本部設置
2月2日	・鹿児島海上保安部による調査の結果、漂着油に有害物質は含まれないことが判明。
2月14日	・油防除会社（日本サルベージ株式会社）現地入り
2月15日	・油防除会社（日本サルベージ株式会社）による油除去作業開始
2月16日	・役場本庁舎にて、保険側防除会社による説明会開催

2. 防除作業の状況

2月15日より保険会社による油除去作業が進められています。村では、消防団及び自治会を中心に油除去作業を行っております。また、鹿児島海上保安部による油除去作業も行われています。

3. 鹿児島海上保安部による情報

「サンチ号」流出油等の分析結果等が掲載されております。

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/post-432.html>

3. 十島村漂着油の範囲

